

きた の こ 北野っ子だより

きたのしょうがっこう
北野小学校だより 人権特別号
れいわ
令和7年(2025年)12月10日

がっこうきょういくもくひょう
学校教育目標
す 澄んだ瞳 (先見性・自主性・公平性)
きたのこ いくせい
の北野っ子の育成
～多様性の中でよりたくましく～
ち 知 夢をふくらませる
よく 徳 感性を磨く
たい 体 心身を元気に育てる

北野小学校人権月間・人権週間 特別号

12月10日の世界人権デーに合わせて、北野小学校では「人権月間・人権週間」に取り組みました。人権とは何か、どういうものがあるのかについて考える時間を設け、児童が自分の生活を見つめ直す機会にしました。一人ひとりが人権意識を高め、互いに尊重し支え合う集団作りを進めてきました。取組の一部を紹介します。

委員会の取組みでは・・・

委員長会議で人権月間の目標の原案を提案し、10月27日～11月21日の生活目標を人権目標として、全校で考えました。

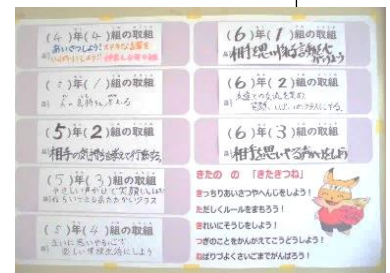
「やさしい言葉をつかって

笑顔がいっぱいの北野小をつくろう」

人権月間までの委員長の取組として、新しいものを考えるのではなく、これまでの委員会取組みに人権を意識したためあてをもちました。委員長会議→各委員会→委員会の常時活動・臨時活動等、活動を広げていきました。今の北野小学校に必要な行動を、自分たちで考えて発信することで「人権を守る」意識を育てました。

学級の取組みでは・・・

人権にかかわる問題について話し合い、自分たちで決めたクラスの人権目標(写真)を達成するために、考え行動する期間を全校でもちました。また、人権週間に人権学習に取り組みました。



人権月間の取組みの中で、気づいたことや考えたこと、これからの生活に生かしたいこと

人権月間/週間のふり振り返りより

ばかばか言葉がたくさん集まり、
気持ちよくすごすことができたよ
～みんなの行動～

- 相手がよることや自分がうれしいと思うことを言葉づかいでも生かそう☆彡
- やさしくかわる(すてきな言葉)
- あいさつをとおして仲を深める

❀思いやりを大切にする❀
～みんなの行動～

- ◆うわさや決めつけて
- ◆相手をこまらせていないかな
- ◆正しいことを正しくする(あたりまえにできるようにしよう)



あいさつ＝挨拶

- ❀「挨拶」は自分の心をひらく❀
- ❀「挨拶」は相手の心に近づく❀

あいさつするという事は、自分の心をひらき、
相手をみとめ、相手の心に近づくということ。

あいさつしたのに返事がないといやな気持ちになるのは、相手に自分がみとめられていないと感じるからなんだ。これからも、

やさしい言葉をつかって、笑顔がいっぱいの北野小学校にしよう!

ありがとう・おはよう・あそぼう
ごめんね・だいじょうぶを言う気持ち
がばかばか言葉がおがふえましたヨ

～みんなの行動～

- ★あそびにさそう
- ★スリッパをそろえる
- ★こまっている人をたすける

< 保護者の皆様へ ～いじめの認識について～ >

保護者の皆様は『いじめ』と聞くと、どのような行為を思い浮かべますか？

真っ先に思い浮かぶのは、「複数の人が長期間に渡って暴力行為を繰り返すこと」や、「力関係の強い者が何も言えない子に対して高圧的に攻撃すること」などでしょうか。。

もちろん上記の内容は紛れもなく『いじめ』と言えます。



ただし、「たたく・蹴る」などの暴力行為だけでなく、「悪口を言われる」「無視をされる」「仲間外れにされる」「物をかくされる」「LINEなどで嫌なことを言われる」なども『いじめ』として扱われます。いじめ防止対策推進法第2条では、いじめを次のように定義しています。



この法律において、「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的または物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

つまり、遊びのつもりのものであっても、される側が嫌だと感じていたら「いじめ」になりうるということです。北野小学校では、そのことを念頭に置き、「いじめを絶対に見逃さない！」という思いで子どもたちと向き合っています。アンテナを高くして見ていると、子どもたちの日常の何気ない会話や行動の中に存在する「隠れたいじめ（見えにくいいじめ）」を発見することができます。北野の子どもたち全員が安心安全に過ごしていけるよう、小さいいじめから早期発見し、早期対応していきたいと思えます。下記にいじめ防止学習を載せましたので、ご参照ください。11月は子どもたちと日々の生活や道徳の学習を通して「一人ひとりの人権を守る」ことについて考えました。ご家庭でも冬休み等に「いじめ」についてゆっくりとお子様とお話ししていただけると幸いです。ご理解、ご協力をよろしくお願いします。



北野小学校「いじめ防止学習」

人権の視点をすべての学習活動の中で大切にしています。ここでは、主に道徳の学習で学ぶことを紹介します。

1年生「やめろよ」（善悪の判断、自律、自由と責任）

正しいと思ったことができたときは、自分で考えて行ったからこそ喜びや自信が生まれることを理解し、正しいと思ったことを進んでやろうと決意しました。

2年生「ある日のくつばこで」（善悪の判断、自律、自由と責任）

正しいことができた時とできなかった時の心の晴れやかさの違いについて考え、勇気をもって正しいことを進んで行おうとする気持ちを育てます。

3年生「同じなかまだから」（公正、公平、社会正義）

自分の気に入る友達だけでなく、他の友達も同じ集団の中にかかることや、仲間外れはみんなの問題であると考え、どの人も大切にするために気を付けることについて考えました。

4年生「いじりといじめ」（公正、公平、社会正義）

いじりはいじめにつながることや、つらい思いをしている人がいたら、みんなで正すことがよりよい集団をつくることに気がつき、みんなで安心できる集団をつくっていかうと考えました。

5年生「いじめ防止授業」（公正、公平、社会正義）

弁護士の方からいじめについて、過去の事例を紹介してもらい、法律の観点からいじめについて学び、いじめ根絶にむけて自分ができることを考えました。

6年生「わたしのせいじゃない」（公正、公平、社会正義）

いじめに対する傍観者としての無責任な気持ちがいじめを生んでいることを理解し、いじめに気付く「目」をもつこと、自分ができることについて考えました。